【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-177004(P2017-177004A)
【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2017-038
【出願番号】特願2016-68108(P2016-68108)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ　46/24　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ　46/24　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月12日(2018.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内部のエアーが吸引排出されるエアー排出口と、前記エアー排出口から前記内部のエアーが吸引排出されることによって、外部のエアーとともに外部の粉粒体が前記内部に吸引されるエアー吸引口とを有する粉粒体吸引容器と、
縦筒状に形成されて上部が前記エアー排出口を覆うように前記粉粒体吸引容器に取り付けられた、エアーの通過を許容し、かつ前記粉粒体の通過を阻止するフィルタ体と、
前記フィルタ体に設けられた振動発生源と、を備えた、
ことを特徴とする粉粒体吸引装置。
【請求項２】
前記振動発生源は、前記フィルタ体の内部の下部に設けられている、
ことを特徴とする請求項１に記載の粉粒体吸引装置。
【請求項３】
前記フィルタ体は、筒状フィルタと、前記筒状フィルタの外側と内側とに位置する外側筒状網体及び内側筒状網体と、を備えた、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の粉粒体吸引装置。
【請求項４】
前記外側筒状網体の網目の粗さは、前記内側筒状網体の網目の粗さより細かい、
ことを特徴とする請求項３に記載の粉粒体吸引装置。
【請求項５】
前記フィルタ体は、前記外側筒状網体の外側に位置して多数の貫通孔が形成された外側多孔筒と、前記内側筒状網体の内側に位置して多数の貫通孔が形成された内側多孔筒との少なくとも一方を備えた、
ことを特徴とする請求項３又は４に記載の粉粒体吸引装置。
【請求項６】
縦筒状に形成されて下部が開放され、上部が前記粉粒体吸引容器に取り付けられて、前記フィルタ体を内在するフィルタ保護筒を備えた、
ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の粉粒体吸引装置。
【請求項７】
前記エアー吸引口を開閉する開閉手段を備え、

前記エアー排出口は、前記エアー吸引口を開閉手段によって閉められた状態で、前記フィルタ体の内部にエアーが吹き込まれることが可能である、
ことを特徴とする請求項１に記載の粉粒体吸引装置。
【請求項８】
前記粉粒体吸引容器は、前記粉粒体吸引装置の下部に該下部を開閉する複数の排出弁が粉粒体の排出方向に順に配置されている、
ことを特徴とする請求項１に記載の粉粒体吸引装置。
【請求項９】
前記フィルタ体の温度を検知する温度検知センサと、前記温度検知センサの検知温度が所定の温度に到達するとエアーの吸引動作を停止させる制御部と、を備えた、
ことを特徴とする請求項１乃至８のいずれか１項に記載の粉粒体吸引装置。